

# 国際交流員ザブリーナ・リンの「コラム」

## Time to say goodbye

### おやすみ時間じ…



私が下野市の国際交流員になってから、もう3年が過ぎてしまいました。日本に住めば住むほど、日本の文化や日常生活、メンタリティーについてよくわかってきます。それらはもちろんドイツと共通するところもあれば、違うところもあります。この私の最後の記事では、ドイツと日本の文化の違いについて面白い(可笑しい)と感じたことをいくつか紹介します。

#### 選挙カー、行列

まず、選挙の前に私がびっくりしたことは何だと思いますか？実は、選挙カーのスピーカーから流される大きな音なのです。ドイツではありえないことです。しかし、救急車の音はドイツより小さいです。また、今でも驚くことは、よくレストランなどの前にできている行列です。行列があるからこそ美味しい店だと思ってしまう方が多いみたいですね。ドイツ人は一般的に日本人より気が短いため、食事のために1時間以上待つことはなかなかしませぬ。

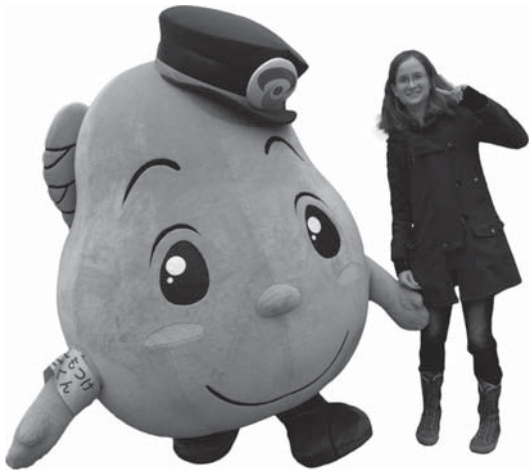
#### お箸が上手ですね！

もう一つは、日本人が毎日使うお箸についてです。少し苦労しますが、子どもたちでもお箸は使うことができますよね？それなのに、なぜ外国人がお箸を使うと「お上手ですね」と褒められるのでしょうか。

ドイツでも中華料理などを食べる際にお箸を使うこともありますし、そこまで難しくないと思います。

#### はい、チーズ！ ピースサイン

あと、面白い癖が日本についてしまいました。それは写真撮影の時のピースサインです。ドイツにはないジェスチャーですが、今ではピースをしないと良い笑顔がとくれません。



なぜでしょうね。

#### Auf Wiedersehen! ……

他にも面白い違いがたくさんありますが、いかがでしたか？

実は、最後になって何を書けばいいのか色々迷いましたが、結局、最も印象的だった文化の違いに決めました。違いがあるからこそ、国際交流は面白いのだと私は思います。

それでは、Auf Wiedersehen! (アフ・ヴィーダーゼーン)の時期が近づいてきました。この挨拶は、「しもつけサタデーモーニング」というラジオショーで紹介しましたが、覚えていきますか？…さようならという意味です。

下野市で働く中で、とても楽しい経験や出会いができて、皆さんに心から感謝しています。市役所や国際交流協会の方々、特にドイツ語講座の生徒さん(「Dankeschön (ダンケシェーン「ありがとう」と言いたいです。自分が気づかない時に色々な迷惑をかけてしまったと思います、それでも皆さんはいつも優しく付き合ってくれて、本当にありがとうございます。))

次の国際交流員も同じように歓迎してください！

それではさようなら！ Tschüss! (チュース) リン・ザブリーナでした！

### 国際交流員コンパ「カヴァーン」第26回

#### ドイツ・ミュンヘン大学生と市民の交流会

下野市の特産品であるかんぴょうを使ったふくべ細工作りをしながら楽しい時間を過ごしてみませんか？

- 日時 8月20日(水)  
午後2時～4時30分  
(午後1時30分受付開始)
- 場所 きらら館 研修室
- 参加費 500円(一人一作品)
- 持ち物 絵筆(できれば大小2本)
- 申込期間 7月7日(月)～18日(金)
- 定員 10名
- 申し込み・問い合わせ先  
下野市国際交流協会事務局  
(市役所生活安全課内)  
☎(40)5555

